

（-は記載なし）

項目	プロジェクト名	主導企業	製造能力 年間製造量	段階	EU・スペイン政府からの 支援認定案件	概要
つ く る	プエルトリャノ（第2フェーズ）	Iberdrola、Fertiberia	20MW	2022年 稼働	IPCEI Hy2Use	投資額1.5億ユーロ。大手肥料工場内にグリーン水素供給。現在第2フェーズ（200MW）を準備中。 なお、アンダルシア州でも同様の肥料向けプラント（200MW+370MW）を準備中。
	アンダルシア・グリーン水素バレー	Moeve、Fertiberia、Maersk	2,000MW 30万トン	着工予定 （2025年6月ごろ）	Eueopean Hydrogen Bank	アラゴン州南部の超大型製造プロジェクト。パイプラインを敷設し、水素バックボーンに接続し東 部工業地域（肥料・窯業など）へ供給。2029年稼働予定。
	カタリナ	CIP、Enagas.R、Fertiberia	500MW	2026年 着工予定	Eueopean Hydrogen Bank	アラゴン州南部の超大型製造プロジェクト。パイプラインを敷設し、バックボーンに接続。東部工 業地域（肥料・窯業など）へ供給する。2029年稼働予定。
	ビルバオ（第2フェーズ）	Repsol（Petronor）、Nortegas	100MW	着工予定 （2025年9月）	・ IPCEI Hy2Use ・ Innovation Fund	投資額2.6億ユーロ。レプソル子会社製油所の脱炭素化。第1フェーズ2.5MWは2023年稼働。第2 フェーズは2028年稼働予定。2030年までにパイプライン敷設し、製鉄所などに供給する計画。 同社はビルバオでも、水素や合成ディーゼル・SAFの製造を実証するプロジェクトを実施予定。な お、当該プロジェクトは、サウジアラムコと共同実施する想定。
	バレンシア水素クラスター（HyVal）	BP、Iberdrola	25MW 2,800トン	FID	—	BP製油所（バレンシア州北部）の脱炭素化を核とする水素製造プロジェクト第1フェーズ。2024年7 月にFID。2026年後半に稼働予定。第1フェーズの最終的な製造能力は200MWを目指す。
	タラゴナ水素ネットワーク（T-Hynet）	Repsol	150MW	未定	・ NGEU-Cluster/Valley（注） ・ Innovation Fund	投資額3.14億ユーロ。レプソル製油所（カタルーニャ州南部）の脱炭素化。製造能力は毎時2.7トン とスペイン最大。稼働時期未定。 「エコプラント」（2029年稼働予定）に8億ユーロ投資することも決定。このプロジェクトでは、 都市廃棄物を原料に、再生可能メタノール（主に船舶燃料など用途）を生産するする想定。
	アストゥリアス水素バレー	EDP	150MW	未定	・ IPCEI Hy2Use ・ NGEU-Supplychain	旧火力発電所のグリーン移行案件。セメント、鉄鋼などの周辺産業に供給。
は こ ぶ	H2Med	Enagas	—	FS/FEED	・ PCI	総投資額25億ユーロ。ポルトガル、スペイン、フランス、ドイツの4カ国によるパイプライン。イベ リア半島と欧州北西部（フランスとドイツ）を結ぶ。ポルトガルとスペイン国境区間とバルセロナ 〜マルセイユ（海底）区間の延長は約700km。年間輸送能力200万トン。2030年稼働予定。
	スペイン水素バックボーン （国内基幹パイプライン）	Enagas	—	2027年にFID予定	・ PCI	投資額42億ユーロ。南部アンダルシア州〜北西部の重工業地帯〜バスク〜アラゴン州〜バルセロナ 〜地中海側の工業地域と貯蔵拠点2カ所を通るパイプライン。延長2,600km。国内すべての製油所、 製鉄所に接続し水素を供給。2030年稼働予定。
	海上輸送ルート	・ Iberdrola ・ Cepsa ・ Repsol	—	2020年代末以降	—	・ イベルドローラ：ウエルバ港〜オランダ・ロッテルダム港（アンモニア） ・ セプサ：アルヘシラス港〜ロッテルダム港（アンモニア、メタノール） ・ レプソル：ビルバオ港〜オランダ・アムステルダム港（水素、水素派生製品）
つ か う	TMB	TMB、Iberdrola	2.5MW （2022年時点8台所有）	2022年	・ CEF-Transport ・ Horizon	スペイン最大の水素燃料バス導入プロジェクト。バルセロナ交通局（TMB）が進めている。イベル ドローラが設置した専用のグリーン水素製造プラントで充填（じゅうてん）。2024年11月現在、46 台を保有。
	BenorthH2	Hyfive、Nortegas	200MW	FID	—	バスク州アモレビエタCCGT（ガスタービン・コンバインドサイクル）発電所でグリーン水素を製造 し、水素混焼による発電、排ガス網への注入（ブレンディング）、合成燃料製造、水素充填スタン ド設置などを行う、総合的な地産地消案件。現在フェーズ2。
	ハイドナム・スチール	Hydnum Steel	—	FS	—	投資額17億ユーロ。スペイン初のグリーンスチール案件。グリーン水素の製造、鉄直接還元技術、 スクラップを利用し、第1フェーズでは年間150万トンの熱間圧延鋼を生産。2026年稼働予定。

注：「NGEU-Cluster/Valley」は2025年2月末時点において仮決定段階。

出所：スペイン水素協会（AeH2）、企業プレスリリースなどを基にジェトロ作成